

感染症からとらえる社会

次の4つのテーマからとらえよう！

1 人々の往来

2 生活の変化とICT

3 経済や産業への影響

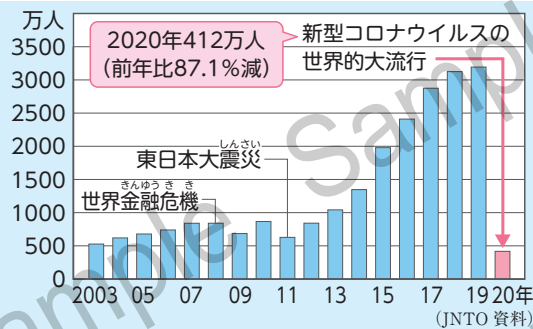
4 感染症と歴史とのかかわり

2020年から、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が急速に世界中に広まりました。感染症の大規模な流行による、生活・産業・経済などへの影響を、社会の学習を通してとらえてみましょう。



1 人々の往来からとらえる！

1 日本を訪れた外国人旅行者数の移り変わり



▲グローバル化の進展に伴い、新型コロナウイルスはまたたくまに世界中に広まりました。世界的な大流行の中、人々の往来が大幅に減りました。

2 ロックダウン中のニューヨークの街並み (アメリカ合衆国, 2020年)



▲感染の拡大をおさえるために、ロックダウンと呼ばれる外出制限が行われた国や地域があります。

いつもは多くの人が集まる通りも、全く人が出歩いていないね。



キーワード

グローバル化

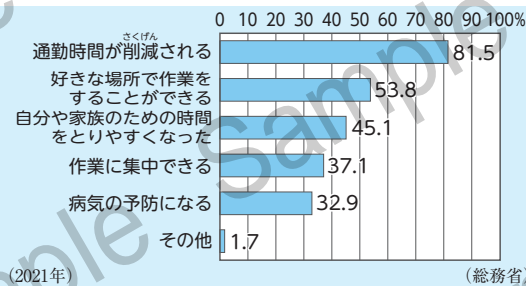
人や物、お金や情報などが、国や地域などの枠組みを越えて地球規模で広がること。

ロックダウン

緊急事態により、外出や地域への出入りが制限される状況のこと。日本では、諸外国のように、行動制限を命じ、違反者に刑罰をあたえるロックダウンは行われていない。(2022年4月現在)

2 生活の変化とICTからとらえる！

1 テレワークの利点についての意識調査



▲2020年の最初の緊急事態宣言をきっかけに、情報通信産業を中心に、テレワーク(リモートワーク)を導入する企業が増えました。新たな働き方として、感染症が収束した後も、テレワークを続けたいという人が多くいます。

2 オンラインで配信された花火大会 (三陸花火大会)



▲祭りやライブ、コンサートなど、オンライン配信されるものが登場しました。

オンライン授業が行われた学校もあるね。



キーワード

テレワーク(リモートワーク)

ICT(情報通信技術)を活用し、職場に出社せず自宅などで働くこと。「テレ」も「リモート」も「離れた・遠隔」という意味。

オンライン

コンピューターがネットワークに接続している状態。「オンライン○○」という表現で使われることが多く、ネットワークを通じてサービスを提供することを示す。

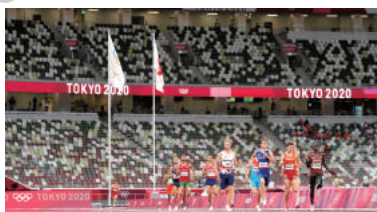
3 経済や産業への影響からとらえる！

1 電機メーカーが生産したマスク



▲マスクが品薄になる中、異業種からマスク製造を始めた企業があります。企業の社会的責任としてだけでなく、チャンス求めた新しい事業への参入でもあります。

2 オリンピック東京大会での観客のいない客席



▲2021年のオリンピック・パラリンピック東京大会は、無観客での開催になりました。観客を入れた場合と比べて、経済的な損失は大きかったといわれています。

キーワード

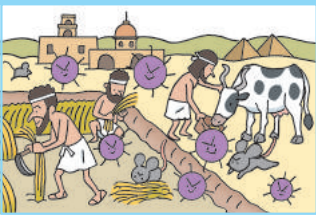
企業の社会的責任

企業には、利潤の追求だけでなく、社会のために活動する役割もあるという考え。


4 感染症と歴史とのかかわり からとらえる!

人類と感染症の関係 ～文明の発達と感染症の広がり～

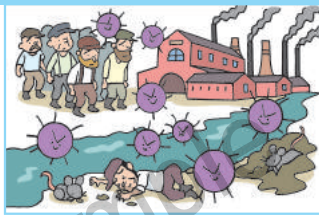
1 農耕の開始と定住



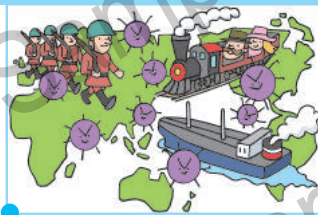
2 交流・交易の拡大



3 産業の発達と都市化



4 世界的な人の移動



農耕や牧畜が始まり、人々が定住すると、人から人へと感染症が広がるようになりました。

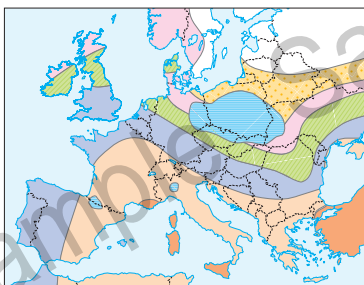
大帝国の成立や離れた地域との交易の拡大で、感染症が地域を越えて広まるようになりました。

商工業が発達して都市に人々が密集し、衛生が整わない環境で、感染症の流行が頻発しました。

貿易や戦争などで人々の移動の範囲・規模が広がり、感染症が世界的に流行するようになりました。

中世ヨーロッパ・ペストの大流行

14世紀ヨーロッパにおけるペストの広がり



1347年 1348年中期 1349年前期
 1349年後期 1350年 1351年
 1351年以降 ペストの被害が少なかった地域
 ※国境は現在のもの。(「詳説 世界史図録」ほか)

14世紀の半ばにヨーロッパでペストが爆発的に流行しました。当時はモンゴル帝国の拡大により大陸東西交流が盛んで、アジアで流行したペストがシルクロードを通じてヨーロッパに入り、各地に広がりました。

スペインかぜの世界的な大流行

感染した兵士であふれたアメリカの緊急病院



▲スペインかぜは、第一次世界大戦末期の1918年から大流行した、インフルエンザウイルスによる感染症です。従軍した兵士たちの中で感染が拡大し、さらに兵士が自国にウイルスを持ち帰って世界的に広がりました。

キーワード

シルクロード(絹の道)
 大陸の東西交流に重要な役割を果たした、中国・中央アジア・西アジア・ヨーロッパを結ぶ交易路の総称。

第一次世界大戦
 1914～18年にかけて、ヨーロッパを主戦場として連合国と同盟国の間で起こった世界的規模の戦争。

時代	世紀	主なできごと
古代	2世紀	ローマでマラリアが流行(ローマ帝国衰退)
	6世紀	コンスタンティノープルでペストが流行
	8世紀	日本で天然痘が流行 ⇒大仏建立 ①
中世	9世紀	祇園祭が始まる ①
	14世紀	ヨーロッパでペストが大流行
近世	18世紀	イギリスのジェンナーが予防接種に成功
	19世紀	インドから世界各地にコレラが広まる 日本で天然痘やコレラなどが流行 ②
近代	20世紀	スペインかぜ(インフルエンザ)の世界的な大流行 ③
	21世紀	SARS(サーズ)などの流行 新型コロナウイルス感染症が世界的に流行
現代		

日本の歴史と「疫病」 *疫病は、感染症のような伝染病の古い呼び方。

1 疫病と祈り・祭り

絵巻物に描かれた疫神 (融通念仏縁起絵巻)



◀ウイルスなどの病原体の存在が不明だった時代、疫病は鬼神や怨霊などがもたらすと恐れられていました。奈良時代に東大寺の大仏がつくられた理由の1つも、大流行した天然痘がしずまるように祈願することでした。

祇園祭



▲祇園祭は、平安時代初期に京都をはじめ各地で疫病が流行したときに、疫病祓いを行ったことから始まりました。

2 感染症と闘った日本人

緒方洪庵 (1810～1863年)



◀江戸時代に天然痘がまん延したときに、予防接種にあたる種痘による予防法をいち早く取り入れ、「除痘館」を開設して種痘を広めました。

北里柴三郎 (1853～1931年)



◀破傷風の治療法を開発したほか、何度も大流行をくり返してきたペストの原因である、ペスト菌を発見し、予防や対策の研究に努めました。

3 感染症予防の広まり

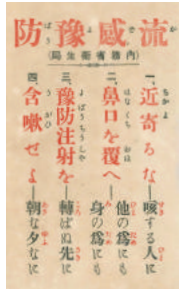
予防のためのポスター

右から左に読んでみよう!



(国立保健医療科学院図書館蔵 内務省衛生局著「流行性感冒」1922.3.)

予防の心得



▲日本でも1918～20年にスペインかぜが大流行しました。その当時に示された予防法は、マスク着用やうがいの励行など、現代の感染症予防との共通点が多くみられます。